

〔諸造船式圖〕水船

上口凡長二丈三四尺、
横六七尺、

〔和漢船用集三〕舟名數海船水船 又水取船と云、水傳間と云、或表箱作りにして、異形に造れるあり、海上は潮にてのむことあたはず、此ゆへに船中に水櫃を居置、水をたくはへ積の舟也。

〔和漢船用集五〕舟名數江湖川船湯船 武州江戸にあり、舟に浴室を居、湯錢を取て、浴せしむる風呂屋舟也。

〔諸造船式圖〕湯船

上口凡長二丈一、二尺、
横六七尺、

〔類聚名物考船車〕糞艘。こひふね こやしふね

京にては高瀬川に、小便桶を高瀬舟につみてくだし、江戸にては、葛西この名所なり、大坂も、舟に糞尿をつみて往來する事異ならず、

〔和漢船用集五〕舟名數江湖川船糞船 同上○在郷舟農事に用、尿糞をいる、者遠宏道姑蘇遊記に曰、百

花州に二三十の糞船ありといへり、和漢その品かはることなし、

部切舟。同上糞をいる、に、幾間も仕切あるの名なり、此ゆへに間船とも云、在郷村々に用る者、

又攝州に下糞仲買の舟あり、

桶船。攝州河州在郷の下糞をとるに、桶をすへて、これに入おくの船なり、土桶船と云、又青物野菜の類を積て市に來る、あるひは所の名を呼、辻堂溝口など、舟のつくりも、すこしの違あり、

〔江戸繁昌記二〕街輿附猪牙船

館屋遊舟之華、茶任漕船之豊、人皆以知都下繁昌、或不知屎舟糞船、大且多而繁昌、胎乎屎糞、一日百漕、送之郊野、宜哉環江都、數十里之田、土賦穀膏宜矣。